

大統領選の候補者争いで揺れるブラジル金融市場

～ファンダメンタルズの改善による利下げ期待が相場を下支え～

2025年12月8日

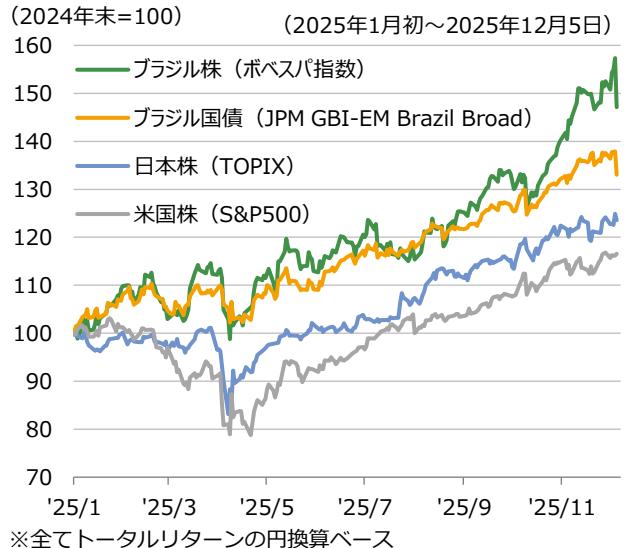
右派勢力の分断により政権交代の期待が低下しトリプル安に

ブラジルのボルソナロ前大統領の長男であるラビオ・ボルソナロ上院議員（以下、ラビオ氏）が、来年10月の大統領選出馬について父親の支持を得たと表明したこと、12月5日のブラジル金融市場はトリプル安で反応しました。具体的には、ボベスパ指数が前日比▲4.3%（現地通貨建て）、J.P.Morgan算出のブラジル国債指数が同▲1.3%（現地通貨建て）、ブラジル・レアル円が同▲2.3%となりました。

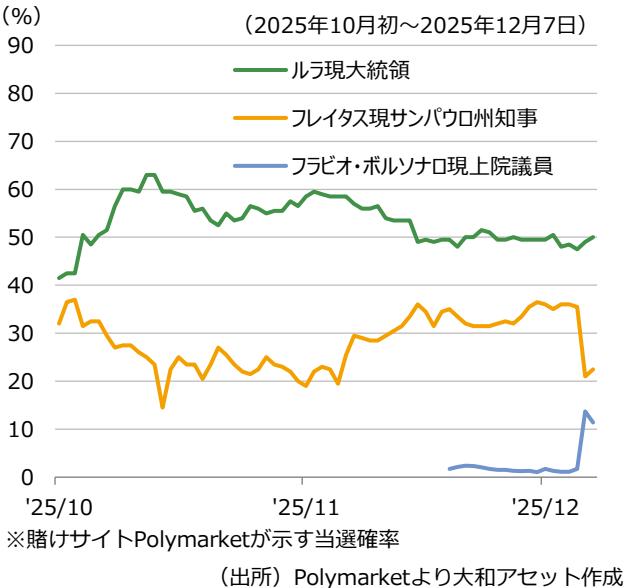
来年の大統領選挙に向けては、ルラ現大統領（左派）の対抗馬としてフレイタス現サンパウロ州知事（中道右派）が出馬すれば政権交代の可能性が高いと考えられていました。ただし、フレイタス氏はボルソナロ政権時代に閣僚を務めたこともあり、ボルソナロ前大統領のお墨付きがなければ出馬しないとみられ、ボルソナロ前大統領が後継者として誰を指名するかが来年の大統領選挙の行方を大きく左右すると言っても過言ではありませんでした。こうした状況で、ボルソナロ前大統領が長男ラビオ氏（右派）の出馬を支持したという知らせはフレイタス氏の出馬期待を低下させると同時に、ラビオ氏では中道派の支持を得られないため、ルラ大統領の再選によって拡張的な財政政策が継続するとの懸念が強まりました。

ブラジルのインフレ率は目標レンジの上限（4.5%）まで低下し、来年序盤の利下げ開始期待が高まるなどファンダメンタルズは改善しています。今後も選挙情勢に市場が敏感に反応するとみられます。フレイタス氏の当選確率が急落した現状からのブラジル金融資産の下落余地は大きくないと考えています。

各資産の年初来推移



2026年10月ブラジル大統領選挙の当選確率



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧説を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指標・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。